

# 清流 ニュース

発行所  
〒192-0904  
八王子市子安町 1-22-25  
清流 寺  
清流ニュース編集室  
電話 (042) 646-0287(代)  
FAX (042) 644-1164  
http://seiryuji.jp.org/

### 令和6年度総祈願

本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加  
日序上人御廿七回忌・日鏡上人五ヶ年報恩ご奉公  
寺内・境内整備ご有志奉納推進 工事無事着工  
甲乙御講席主・願主増加・共連れ参詣促進・ご奉公体制再構築  
お助行御法門聴聞励行・教養会内容充実・役中後継者養成

### 十二月の御総講日

一日 十時 御修行日

七日 十時 パースデー総講

十三日 十時 高祖御命日

十七日 十時 開導御命日

廿五日 十時 門祖御命日

併御本尊御会式

於 清流 寺

十二日 十時 高祖御逮夜

十六日 十時 開導御逮夜

廿四日 十時 門祖御逮夜

廿四日 十時 飲尊御命日

於 羽 村 別 院

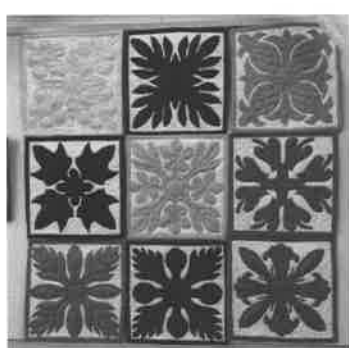
### 会議

一日 御総講後 役中会議

十四日 午後三時 参事会

### 特別行事

廿五日 御本尊御会式併修



ハワイアンキルト 瀬嵩さん作

## 令和七年弘通年度のはじまり

いよいよ、令和七年の弘通年度に入りました。

宗門は、来る令和十三年にお迎えする、高祖日蓮大士の七五〇回御遠諱へ向けてのご奉公がはじまりました。

当山は、本年七月に、初代住職権大僧正日序上人の御廿七回忌を奉修させていただきました。納骨堂屋根の改修も無事に終了致しました。

また、令和八年は、第二世住職日鏡上人の御七回忌に当りますので、令和七年は、七回忌前年としてのご奉公となります。

本月は、令和六年の反省としめくり令和七年にむけてのご奉公をさせていただくこととなります。

### 就任のご挨拶

ありがとうございます

第三十一期東京中央布教区役員跡を承け、第三十二期布教区役員として左記の体制で御奉公させていただきますこととなりました。歴代布教区長に比べますと、浅学非才にして未熟者極まりない小僧でございますが、布教区の御弘通発展、また宗門の隆昌発展のため、精一杯御奉公させていただきます。

布教区管内各寺院の御導師、教講両務各位におかれましては、何卒これまでと変わらぬご指導・ご鞭撻の程、伏してお願い申し上げます。

令和六年十月上流

### 東京中央布教区第三十二期役員

- ・ 布教区長
- ・ 教養部参与・社年会指導講師
- ・ 教育部・広報部参与
- ・ 広報部参与
- ・ 法人部参与・青年会指導講師
- ・ 弘通部参与・婦人会指導講師
- ・ 弘通部参与
- ・ 総務部参与・薫化会指導講師
- ・ 財務部参与
- ・ 布教区会計監査
- ・ 布教区会計監査

### 本山初灯明料の奉納

志を篤く功德を積みましよう  
一年の経は初灯明料にあり

本山御初灯明料は、宗門三大奉納金の中でも一番大きなウエイトを占めています。

一年の計は、元旦にありと、いわれており、年頭に一年の計画を立てますが、当宗では、新年の初灯明料の奉納により、一年間の経済のお計らいをいただきますよう。

〆切日は一月七日になつておりますので、よろしくお願ひします。

### 第四世講有日教上人御墓前式

令和七年一月十三日

墨田区・清雄寺にて

令和七年の御墓前式が、一月十三日(祝)本所・清雄寺に於て開催されます。

### 年末年始の行事

十二月廿五日 御本尊御会式

日頃、格護されている御本尊を、年に一度奉安して御題目をお唱えし、法味供養をさせていただきます行事です。

十二月三十一日 除夜法要

第一座 十九時

第二座 廿三時三十分

令和七年 新年初御看經

一月一日 第一座 廿四時〇分

※第一座は除夜法要に引き続き行います。

第二座 午前七時より

※羽村別院の新年初御看經は午後一時より。

三ヶ日中の朝参詣は、午前七時より八時迄です。

一月三日 午前十時

新年初総講・成人式

一月六日より 寒参詣開始

### 十二月御利益感得助行

清流寺祈願助行は、原則として、平松信応師の帰寂日の三日に行われております。

今月は、丁度、ご命日の三日に実施されます。

この日は、QJLD組と合同での祈願助行となります。  
午前九時より三時間の口唱会により、諸願成就をご祈願致しますよう。

### 令和七年寒参詣

一月六日〜二月四日

寒供養の申し込みはお早めに

一月六日より令和七年度の寒参詣が始まります。

例年のとおり、寒供養も実施されますのでなるべく早めに申し込んで下さい。

### 成人式のご案内

一月三日 初総講に併修

来る令和七年一月三日の初総講に併せて、令和七年度清流寺成人式が挙行されます。

各教区は、該当者を調査して早めに寺務所に申し込んで下さい。

### 年末大掃除

廿五日 御総講後

年末の大掃除を廿五日の御総講後に実施致しますのでご奉公をよろしくお願ひ致します。

### 令和七年度四大日程

二月廿三日	門 祖 会
五月十一日	飲 尊 会
七月廿七日	開 導 会
月 日	高 祖 会

### 相模原・妙現寺高祖会団参

去る十一月三日(日) 快晴の文化の日、隣町神奈川布教区相模原妙現寺高祖会に、ご住職はじめ十八名でお参詣させて頂きました。

明るく活気あるご奉公者の皆さんに迎えられる、一階控室でお茶を頂いた後、二階本堂へ進み奉修導師のもと盛大なお看経を頂きました。

次第に従って宗歌合唱、寺内バスツアー紹介後、佛立青年教務会第四支部長、堤清信師より沖繩佛立寺について報告がありました。

次に、事務局からの行事と福祉報告として食材提供をNPOを通じて実施したり近隣住民との交流として、

一〇〇万人クラシックライヴ、外部掲示板の活用や小学校登校時の集合場所として境内の提供と、子供向けクイズや鏡餅つき大会実施や青年会とファミリー会(元くんげ会の発展型) 合同助行(受験、就職)青年会と子供達が法鼓練習でふれあいお会式でご奉公されてました。

青年会はお講後にご供養BQ、その他台湾研修団参で日本人墓地の供養をされたり、法灯相続につなげたい報告がありました。各自が妙現寺LINEで周知に活用しているとの事です。

また、妙現寺の鈴江昭薫御住職の挨拶では、先程青年教

務の清信師が得度つ子とのご紹介、奉修導師と祖父、父の代からの繋がりについて話されました。

引き続き奉修導師、千葉県館山・廣全寺柏日胤御導師のご法門御教歌身にかへて

つとめはなさで中々に報ひなしとはかこたざらなむ

※ご奉公には、守るマナーとルールがある

自分考えはダメ、御利益が頂けない時は反省が大事、ご法門のまま実行、責任転嫁、人のせい、煩惱に溺れるは全てダメ



本堂を背景に団参者一同

### 「乗泉寺高祖会当番参詣団参」報告

去る十一月九日(土) 爽やかな秋の日差しの中、乗泉寺高祖会の一席にお参詣させていただきました(九日二座、十日二座)

当日は、本年八月二十八日・乗泉寺住職に御就任された、澤田日義上人奉修導師のもと、お看経の後に正宗徒と新教化の授与式が行われました。

澤田御導師ご法門御教歌身にかへて

つとめはなさで中々に報ひなしとはかこたざらなむ

私達の信行は必ず御利益がいただける、ただけなのは改良が大事

自分の信心が適当だと不平不満が出てくる

素直な人は、些細な事でもお懺悔したり、お講師にお折伏を求めた。

ご祈願がかなわない人、そこから工夫する、その姿をお祖師様が見ている

如説修行抄四段の「およそ仏法を修行せん者は撰折二門を知るべきなり、一切の経論この二つを出でざるなり」とお唱えさせて頂きます。如説修行ということとは、正しい法華経の教えをご指南としなければなりません。ご承知のようにその法華経にも、述門と本門とがあり、述門の教えに基づけば撰受の修行が説かれ、本門には折伏の修行が示されている。これをシツカリわきまえて修行しませんと「勞して功無し」となってしまう。仏様のご在世や滅後正法・像法二時の人々は撰受の教え、撰受の修行によつて得益することが出来ますが、今末法の時代我等凡夫は折伏の教えを以つて、折伏の行によつて成仏得道するもの

仏果を成ずるのであります。撰受とは、まず人の長所を生かし延ばすという面から、次第に改良に導いて行く仕方であり、折伏はこれと反対にまづ人の欠点・短所を矯正しようとする仕方であります。ご

### 直入法華折伏宗

#### 当宗は先ずはじめから本門の

#### 要法を説く不軽行なり

浅沼 序説

教歌ではこちらを説かれております。へまははじめから本門の要法を説くとは、正直捨方便と申して無理やりにでも妙法蓮華経のお題目を吞ませ、唱えさせることでお救いさせていたただくのでありま

十には、「本と末だ善有らざれば、不軽は大を以つて而して強いて之を毒す」とある。煩惱多き私達衆生は、福德が薄いため自ら妙法を求めるところを起こさせ毒鼓の縁を結

ばせて、妙法を受持し仏道を成じさせるのです。これが不軽流の末法の世に叶った修行なのであります。不軽菩薩というお方は「我れ深く汝等を敬う、敬えて軽慢せず。所以は何ん、汝等皆菩薩道を行じて、当に作仏することを得べし」と、末法弘通の修行態度をお示しで、お名前の通り、人を軽しめず、人の心の仏性を引き出し、妙法蓮華経のお題目を唱えさせんが為に、けなされようと、さげすまされようと、相手も敬いつづけて折伏、教化あそばされたのであります。お互いもお教化に出かける時は、この不軽菩薩の態度をお手本とさせていただくのです。相手は簡単に聞き入れてはくれませんが、断られても出直して行く、嫌わ

れてもおそれる心なくお勧めさせて頂くのです。以前おられた、小林定吉さん。若いころに御住職に「小林君、お教化をさせて頂きなさい」と云われ、誰をさせていたかどうかと考えて、いつも銭湯で会う年配の方にお勧めしようとお勧めし、自宅まで伺いお勧めしたところ、相手を怒らせてしまいバケツの水をひっかけられて帰ってきたそうですが、それでも再度お邪魔しお折伏をさせていたのだと云うところ、ついに根負けし「あんたには、負けたよ」と云って入信されたそうです。ご教歌にも「法華経の御心なるぞ信者達折伏をせよ皆が皆まで」また、「負けん氣と根氣と慈

悲のある人はみのり弘むる器なりけり」との、み教えであります。私共、佛立信者は仏祖のみ教えに従い家族や同僚、世の人々の為にもお題目をお勧めし、今問題となつてお困る人、今問題となつてお困る人、様々な苦しみや悩みを抱える人をお救いし、今地球上での争い、環境破壊、自然災害等から未来を救い、現世安穩後生善処、自他ともに真の幸福を願わずにいられません。「吾祖曰く、日蓮が弟子且那我慢偏執のころなく、異体同心に弘通広宣をいのり奉るべきなり」と、忍辱心決定の文「滅罪抄の結文を念頭に、日々ご弘通第一にご信心に精進させていたただきましょう。